

## 【福祉講演会の生徒の感想】

(2年女)

初め「車いすでバスケットをやる」ということを聞いて、とても驚きました。私はテレビでも見たことがなくて全く想像が付きませんでした。今日、実際にチャリオッツのみなさんが車いすに乗ってバスケットをしているのを見て、何か感動しました。最近の私たちのような十代の子どもは「夢がない」「別にやりがいを感じるものなんてない」という人が多くなってきていますが、チャリオッツさん達を見ると、全員が笑顔で仲間たちと楽しそうにバスケットをしていました。ああ、この人達は過去に大変な思いや苦勞をしてきていても、自分の「夢」や「やりがい」を見つけ出せたすごい人達なんだなと思いました。改めて、「自分のやりたいこと、夢ってなんだろう？」と考えさせられる出来事が今日ありました。大変なことがあってもやりがいを感じられることを見つけていけたらいいなと思いました。

(3年男)

今日の講演会で、車いすバスケットボールを見て想像以上の激しさでびっくりしました。正直なところ、今日車椅子バスケットボールを見るまで、体に障害がある人達がやるのだから、そこまでの迫力はないだろうと思っていました。でも実際に見てみると、みなさんは障がいを全く感じさせない早い動きやガッツで試合をしていました。最後の交流の時に、奥田さんはバスケットが自分の生活だと言っていました。僕も今、野球中心の生活なので、奥田さんの言っていることがよくわかりました。今日の講演会で、三重チャリオッツの人達の動きや気持ちを近くで見て、自分もがんばろうという気持ちになりました。

(3年女)

テレビで見たことはあったけど実際に見たのは初めてで、いろいろなことを知ることができて良かったです。実際に競技用車いすに乗ってみて普通の車いすよりも動きやすく回りやすいなどとてもよく出来ているなと思いました。三重チャリオッツの人達の試合はとても迫力があって元気で楽しそうでした。事故などで体の一部が動かなくなってもこういうスポーツなどをして生きている人はとても素晴らしいと思います。3Bで話をしてくれた稲葉さんの話の中で、人に助けってもらった時に、ドアを開けてくれたけど通れないことがあったという話を聞いてなるほどと思いました。車いすで生活をしている人の目線の話はとても普段思っていたことより予想外だったし、そういう人の目線で考えられていなかったということが分かり反省する機会になりました。車いすの人達の気持ちもよく分かったし、何事も楽しむほうが勝ちだというような前向きな気持ちの持てる良い勉強になりました。とても良かったです。